

会 議 名	平成 30 年度 第 1 回板橋区健康づくり推進協議会
開 催 日 時	平成 30 年 7 月 23 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分まで
開 催 場 所	板橋区役所 南館 4 階 災害対策室 A・B
出 席 者	35 人 [委員 22 名] 許 委員 市岡委員 井谷委員 水野委員 金子委員 加藤委員 清水委員 石井委員 三原委員 鈴木委員 山口委員 長澤委員 小林委員 本部委員 小井土委員 片寄委員 林委員 北村委員 藤井委員 浜名委員 秋庭委員 金森委員 [事務局 13 名] 渡邊健康生きがい部長 鈴木保健所長 稲垣健康生きがい部参事 新部健康推進課長 村山生活衛生課長 水田予防対策課長 小池赤塚健康福祉センター所長 (以下、健康推進課) 小林管理係長 関根成人健診係長 西尾健康サービス係長 小林国保特定健診係長 新井女性健康支援係長 小野主事
会議の公開	公開 (傍聴できる) 部分公開 (部分傍聴できる) 非公開 (傍聴できない)
傍 聴 者 数	なし
議 題	1 開会 2 委嘱状交付 3 板橋区長挨拶 4 委員紹介 5 会長互選 6 議題 (1) 平成 29 年度板橋区健(検)診事業について (2) 「いたばし健康プラン後期行動計画 2022」策定後の区民健康意識調査について (3) いたばし健康づくりプロジェクトについて (4) 受動喫煙防止対策について (5) その他 7 閉会
配 付 資 料	資料 1 板橋区健康づくり推進協議会 (第 1 1 期) 名簿 資料 2 東京都板橋区健康づくり推進協議会条例及び同要綱 資料 3 各種健(検)診受診者数について 資料 4 健康意識調査票・「健康」についてのアンケート 資料 5 平成 2 9 年度いたばし健康づくりプロジェクトにおける各コースの実績報告について 資料 6 受動喫煙防止対策について
審 議 状 況	別紙会議録のとおり
所 管 課	健康生きがい部 健康推進課 管理係 電話 3 5 7 9 - 2 3 0 2

平成 30 年度第 1 回板橋区健康づくり推進協議会

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 区長挨拶
- 4 委員自己紹介
- 5 会長互選 会長は、東京都健康長寿医療センターセンター長 許 俊鋭 委員、
職務代理は、東京都保健医療公社豊島病院院長 市岡 正彦 委員に決定
- 6 議題

平成 30 年度第 1 回板橋区健康づくり推進協議会議録

許会長	それでは健康づくり推進協議会の議事を始めます。順に説明願います。
健康推進課長	(1) 平成 29 年度板橋区健(検)診事業について 資料 3 に基づき、平成 29 年度板橋区健(検)診事業について説明した。
許会長	この件について、何かご意見・ご質問等のある方はご発言を願います。
許会長	健康保険の加入者数や対象者数は把握しているのか。
健康推進課長	健康保険の加入者数を把握できるのは、板橋区の国保加入者数のみで、 社保加入者数の正式な数字を把握はできない。そのため対象者数の動き についても把握が難しいのが現実である。
許会長	承知した。景気が向上した結果職につき、社保に移られる方も多くい る可能性があるということであろう。
健康推進課長	あくまで想定である。ただし、受診者数が低下しているのは気になる。 そのため近隣区にも確認したが、近隣区においても国保健診、がん検 診ともに受診率は低減しているのが現状である。
許会長	承知した。胃がん検診については、従来バリウムを使用していたが、 やはり早期の胃がん発見には内視鏡が有効、と移行している。よって、 胃がんリスク検診を受診し、内視鏡につなげていくのが将来的な方向 性としてはいいと思う。受診者の利便性も向上するので推奨していけ

	るといい。
健康推進課長	胃がん検診については、バリウムは 40 歳以上の方を対象に毎年の検査であるのに対し、内視鏡は、50 歳以上の方を対象に 2 年に 1 回の検査である。平成 28 年度に国から内視鏡に切替えていく方針がでている。板橋区は平成 30 年度においても内視鏡は対応できていないが、平成 31 年度から導入できるよう現在準備中である。
許会長	ありがとうございます。他にご意見あればお願いします。
水野委員	胃がん検診についてはバリウムから内視鏡への過渡期である。板橋区医師会は区と関わっているため、スムーズな移行に協力したいと考えている。胃がんリスク検診は胃がん検診と異なるものなので、そこは明確にしながら進めていただきたい。
許会長	他にご意見ございますか。ないようですので、議題 (2) 「いたばし健康プラン後期行動計画 2022」策定後の区民健康意識調査についてご説明願います。
健康推進課長	資料 4 に基づき、(2) 「いたばし健康プラン後期行動計画 2022」策定後の区民健康意識調査について説明した。
許会長	本件は、ただいま事務局から説明があったように、昨年度、本協議会で定めた区民の行動目標の指標の数値をはかるためのアンケート実施についての報告である。 東京都は国より厳しい受動喫煙防止対策に取り組んでいる。たばこはあらゆるガンに悪影響であるし、私の専門である循環器についてもたばこは大きな害をもたらす。なるべく受動喫煙はない方向へ中学生から教育していこう、ということである。 ちなみに、国や板橋区の喫煙率はどうなのか。
健康推進課長	議題 (4) 受動喫煙防止対策について、で詳しくたばこを取り上げるため、それまでに調べて回答する。
許会長	承知した。この件について、何かご意見・ご質問等のある方はご発言を願います。
秋庭委員	今回、中学生、高校生、大学生へアンケートをとるが、ガンやガン教育を意識した結果ということか、また、のちのちフォローアップも検討しているのか。
健康推進課長	ガン教育については、法律や都の条例の中で触れられているが、具体

	<p>的にはこれから教育委員会と協議して進めていくことになると考えている。今回のアンケートとセットではないが、ガン教育についても必要であるので、まずは区立の小中学校が対象になると思うが、これから進めていく課題だと認識している。</p>
秋庭委員	<p>アンケートで中学生にワーク・ライフ・バランスを聞いているが、中学生がこの言葉を知る機会はあるのか。</p>
健康推進課長	<p>学校の授業のなかで、言葉は出てきていると思う。事務局から教育委員会へ、このようなアンケートを実施するが生徒さんたちは対応できるか確認済である。いずれかの形で言葉に触れていると理解している。</p>
秋庭委員	<p>公民の教科書には載っているが、何学年時の授業なのか分からないので、1年生から3年生までアンケートをとった時に差がでてくるのではないか。</p>
健康推進課長	<p>アンケートは2年生を対象にしているため、2年生までの教科書に記載されていると確認している。</p>
秋庭委員	<p>承知した。</p>
許会長	<p>他にご意見ございますか。</p>
市岡委員	<p>アンケートの取り方についてであるが、「～について知っていますか」の質問へ「はい」「いいえ」で回答する形式になってしまうことが多い。この形だと、本来は知らなくても「はい」に回答してしまうことが多々ある。知識として、受動喫煙が何に対して悪いのかの理解を数値で出したいのであれば、受動喫煙が及ぼす影響について項目を羅列し、複数回答ありで丸をつけていく形のほうが、求めている数値が出てくると思う。</p>
許会長	<p>ありがとうございます。今後の課題としていただきたい。また、板橋区は木造アパートも多いので、喫煙が火災の原因となっていると思われる。防災の観点からもぜひ推進していただきたい。</p> <p>他にご意見ございますか。ないようですので、</p> <p>議題(3) いたばし健康づくりプロジェクトについてご説明願います。</p>
健康推進課長	<p>資料5に基づき、(3) いたばし健康づくりプロジェクトについて説明した。</p>
許会長	<p>この件について、何かご意見・ご質問等のある方はご発言を願います。</p>
浜名委員	<p>初年度、スポーツコースに参加したが、健康増進コースとスポーツコ</p>

	<p>ースはどの程度連携しているのか。また、「フォローアップを実施」とあるが、知らなかった。どのように周知しているのか。</p>
健康推進課長	<p>まず、フォローアップは国保生活習慣病予防コース参加者が対象である。スポーツコースとの連携については、特に連携をはかっていない。対象者がスポーツコースは日頃から運動されている方が中心で、当初はマラソンに挑戦できる内容で周知していたと思う。健康増進コースは健康意識を持ち、初めて歩こうとお考えの方を対象にしている。同時期に募集しているが、目的が異なっていると考えている。</p>
許会長	<p>よろしいでしょうか。他にご意見ございますか。</p>
秋庭委員	<p>様々なデータがあるが、平均をとると分かりにくいと思う。歩数が増えた人や体重が増えた人がどのあたりに分布しているか等、分析があるともっと分かりやすいのではないかと。</p>
健康推進課長	<p>そのとおりである。個々のデータはあるが、どの年代の人がどれ位歩き、どれほどの効果があったのか、またそれにより医療費の削減にどれほどつながったのか、そこまで全体の検証ができていない課題がある。平成 32 年度から新たな健康づくりの取組みを考えていく必要があるので、結果を集約し反映できるよう進めていく。</p>
許会長	<p>ありがとうございました。 他にご意見ございますか。ないようですので、議題(4)受動喫煙防止対策についてご説明願います。</p>
健康推進課長	<p>資料 6 に基づき、(4)受動喫煙防止対策について説明した。</p>
許会長	<p>この件について、何かご意見・ご質問等のある方はご発言を願います。</p>
水野委員	<p>東京都医師会では受動喫煙防止を前面に出し、2020年オリンピック・パラリンピックの開催地として襟を正していくべき、との気持ちでやっている。オリンピック・パラリンピックが開催された都市はしっかりと守っていかなければならない、ある意味国際基準ではないかと思う。何より、受動喫煙は良いことではないので、健康増進法をもとにしっかりと守られるべきであると共に、将来を担う子どもたちのためにも必要であると考えている。</p>
許会長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございますか。</p>
小林委員	<p>受動喫煙防止については厳しくなり、良い方向へ向かっていると思う。同時に、喫煙の防止を力強くしていただきたい。喫煙者が減少すれば、</p>

<p>市岡委員</p>	<p>受動喫煙も防ぐことにつながるので、喫煙を防止する方向で進めていただきたいと思う。</p> <p>まさにそのとおりである。喫煙者が減少すれば受動喫煙も合わせて減少していく。許会長もおっしゃっていたとおり、たばこはすべてのガンや循環器疾患、その他血管の疾患や認知症、皮膚の障がいなどに悪影響がある。また、もっと皆さんに知ってほしいのは、喫煙開始年齢が低ければ低いほどリスクが高まることであり、子どもたちにしっかりと教えていく必要がある。我々、病院関係者も、疾患を治すのが仕事であると思われているが、健康寿命を延ばせるよう貢献していかなければいけない。子どもたちへ喫煙の怖さの教育は、医師会や行政だけでなく、病院関係者もやっていきたい。皆で協力してやっていきたいと考えている。</p>
<p>許会長</p>	<p>私は患者さんに肺気腫の写真を見せると、穴が開いている写真に皆さん驚かれる。たばこについて、公衆衛生学的にはどうですか。</p>
<p>井谷委員</p>	<p>公衆衛生の研究の歴史はたばこの研究から入っている。なぜかというところ、身体に悪影響を及ぼすことが、かなりはっきりとしていたからであり、よって研究が進んだ。害しかないので非常にわかりやすかった。この30年ほどで研究が進み、身体に悪いのは明らかになった。たばこ健康の関係については出尽くし、これからの研究が難しくなったと言われている。禁煙が身体に良いことは明らかなので、施策の方向性は明確である。公衆衛生学的にもぜひ、この方向で進めていただきたい。</p>
<p>許会長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ございますか。</p>
<p>北村委員</p>	<p>毎日、成増駅を利用しているが、駅前のロータリーに喫煙場所がある。囲みがないため、これは受動喫煙だと考え息を止めながら通っている。囲みの設置など、何か策はないかと感じている。</p>
<p>健康推進課長</p>	<p>まず、先ほど質問のあった喫煙率について回答する。平成29年、全国たばこ喫煙者率調査（日本たばこ産業 対象：全国成人3万2千人：回答率61.9%）で18.2%。2年連続で減少しており、内訳は男性が28.2%、女性は約9%である。次に、北村委員への回答だが、受動喫煙防止法は基本的に建物の中を対象にしている。ただし、以前から区民の方から同様の意見を多くいただいている。資料6でご説明したとおり、敷地内禁煙でも屋外に喫煙場所設置可とあるが、この喫煙場所が完全な箱なのか否かは示されていないため、これらと歩調を合わせる必要があると考えている。建物の中だけでなく、屋外はどうするのかも合わせて検討していく。</p>

<p>許会長</p>	<p>ありがとうございました。 他にご意見ございますか。ないようですので、 (5)その他について、事務局から何かありますか。</p>
<p>健康推進課長</p>	<p>第2回目の協議会開催について、年明けを予定している旨の説明をおこなった。</p>
<p>許会長</p>	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、平成30年度第1回板橋区健康づくり推進協議会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>閉会</p>